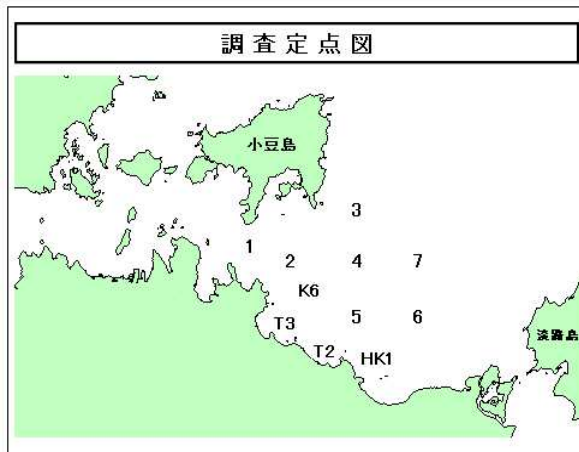


カタクチイワシ卵稚仔出現状況 (2016. 5-2号)

香川県水産試験場 龍満
TEL: 087-843-6511

調査日: 2016年5月18日
調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳
調査定点: 播磨灘11定点(右図)

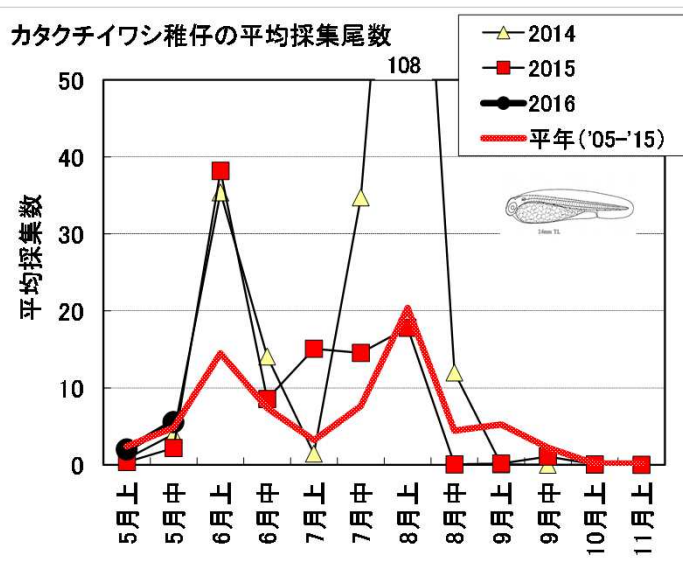
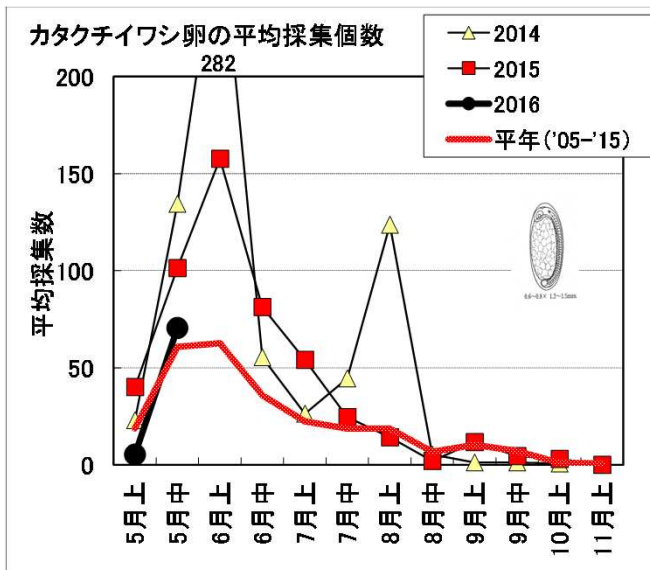


【カタクチ卵】 定点別出現数

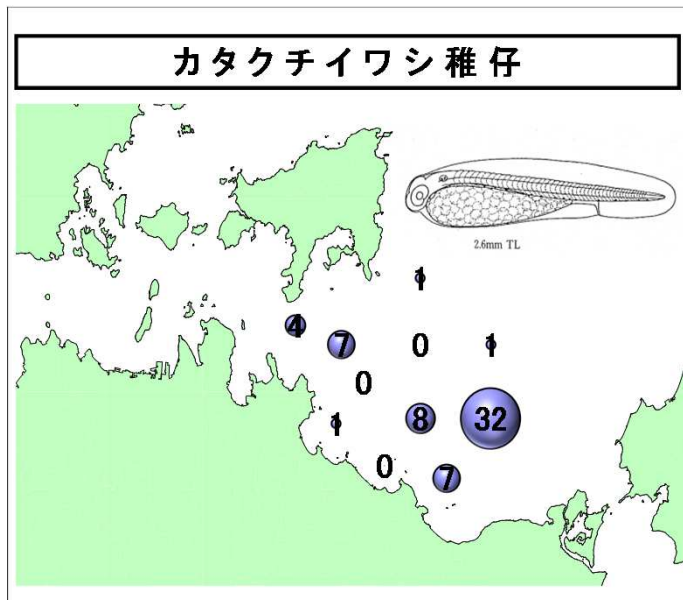
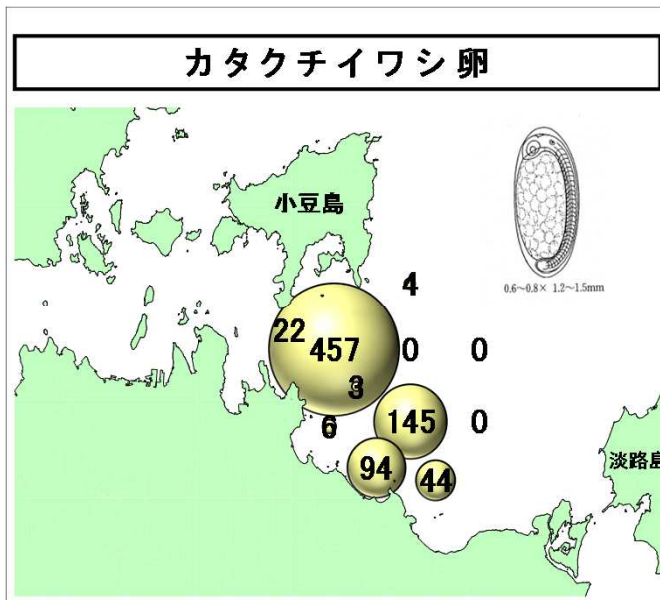
年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	11点平均値
2014.5.19	5	259	92	40	443	2	0	29	4	7	597	134.4
2015.5.15	6	397	25	59	505	11	1	25	1	1	84	101.4
2016.5.18	22	457	4	0	145	0	0	44	94	6	3	70.5

【カタクチ稚仔】 定点別出現尾数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	11点平均値
2014.5.19	2	5	4	2	5	4	5	5	4	1	7	4.0
2015.5.15	0	2	1	4	7	1	1	3	3	1	1	2.2
2016.5.18	4	7	1	0	8	32	1	7	0	1	0	5.5



* グラフの値は、播磨灘11定点の平均値を表す。



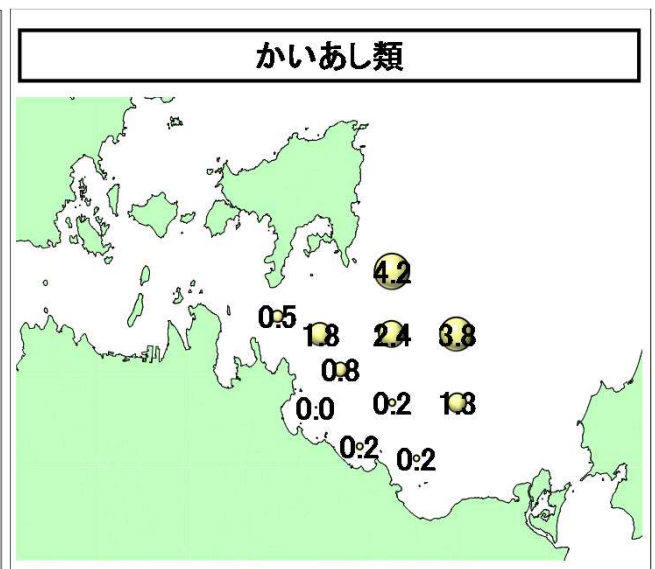
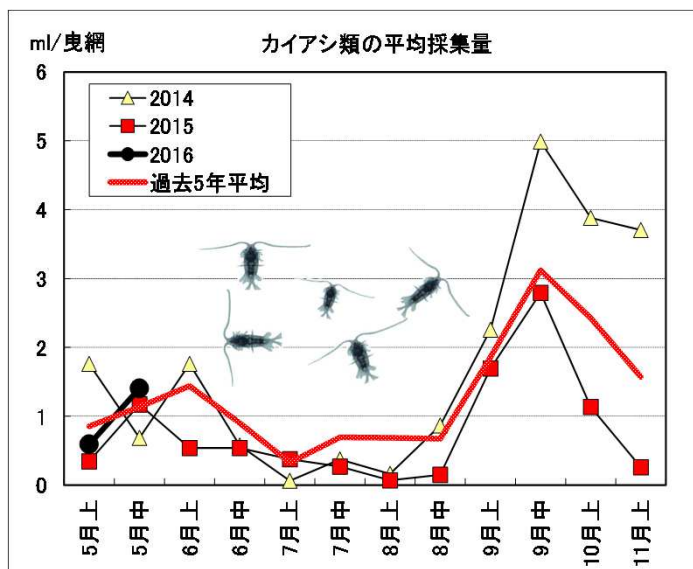
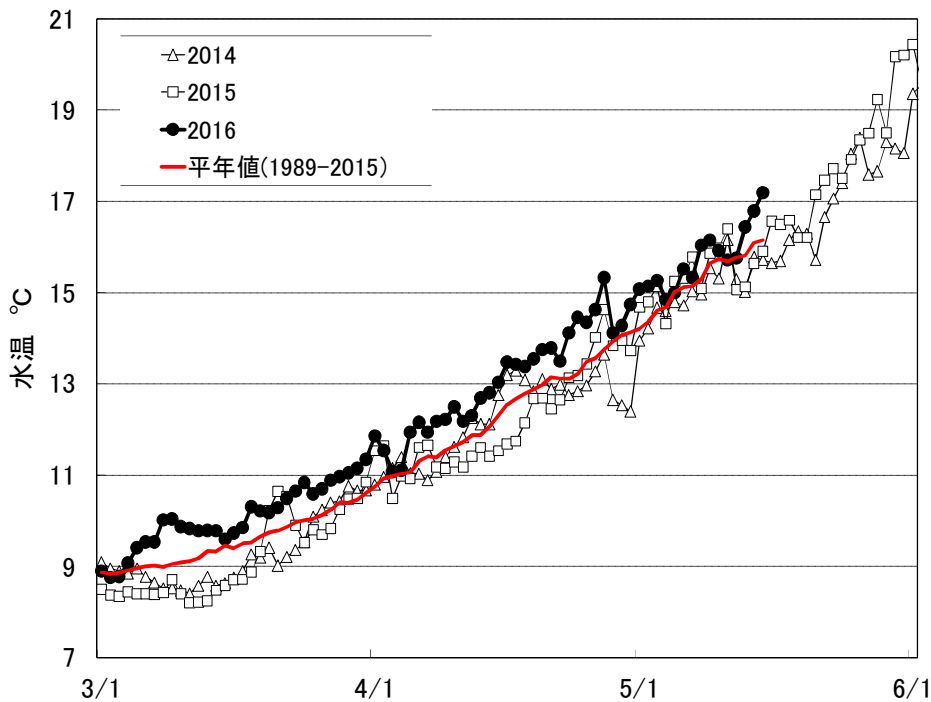
播磨灘11定点における卵の平均出現数は70個で、多かった一昨年、昨年ほどではないものの平年の同時期を上回っており、調査点K2(小豆島南部海域)で局所的に出現していました。また、昨年の同時期は少なかった稚仔も、平均出現数は約6尾と平年並みで、鳴門海峡に近い定点で多く出現していました。

引田沖の水温は平年並みからやや高めで推移しており、カタクチイワシの産卵に適した水温となっています。

餌料生物として重要なカイアシ類は、5月上旬より増え、平年並みとなっています。

【参考】

引田沖水温ブイデータ(午前9時, 1.5m層)



カイアシ類採集量は、プランクトン採集量(沈殿量)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出しています。餌料環境の目安としてご参照ください。

※カタクチイワシ卵稚仔情報は、「水産試験場ホームページ」の「情報提供」の「カタクチイワシ卵稚仔速報」でも公開しています。

<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/>

※次回の調査は6月2日の浅海定線調査に合わせて実施予定です。